

大阪湾漁場環境速報

平成26年1月9日発行
兵庫のり研究所

先月同様、神戸市沿岸（特に神戸空港周辺）～湾奥部で小型珪藻（スケルトネマ、キートセロス等）の増殖が確認されました。今のところ、赤潮には至っていませんが、珪藻の発生量が多い海域では表層のリンがやや低い値を示しています。また、窒素は全域でほぼ平年並の値を示していました。各ノリ漁場付近での栄養塩は、今後しばらく十分量で推移するものと考えられますが、湾奥部を中心に増殖している小型珪藻や栄養塩動向に注意が必要です。

(水温) 表層は湾内10～12℃台で、平均11.4℃。平年比0.3℃低く、昨年比0.7℃高い。-10m層は平均11.8℃（平年比-0.3℃、昨年比+0.1℃）。

(塩分) 表層平均31.41psu(平年 31.84)。-10m層平均31.82psu(平年 32.26)。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均10.1μg-at/L、リン濃度は平均0.62μg-at/L。栄養塩は窒素・リンとも平年(10.0, 0.59)並の値を示している。-10m層(平均)は、窒素8.9μg-at/L、リン0.64μg-at/L。また、湾西部(04, 05, 07, 08, 09)における-30m層の窒素は8μg-at/L前後の値であった。先月同様、神戸市沿岸～湾奥部（表層塩分が30psu以下の海域）ではスケルトネマやキートセロス等の小型珪藻が多く発生している。それ以外の海域では、珪藻の発生量は少ない。また、ユーカンピアは全域でほとんど認められなかった。透明度は5.0～9.0mで、平均6.6m。

上段 (今回値)	平成26年1月8日調査
中段 (昨年値)	平成25年1月9日調査
下段 (平年値)	1月上旬

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	12.2	32.35	8.3	0.66
	12.9	32.61	5.2	0.47
	12.9	32.72	7.4	0.62
05	11.6	31.75	8.0	0.66
	10.9	30.79	5.5	0.22
06	11.6	32.05	7.7	0.61
	11.6	31.72	8.4	0.67
07	11.2	31.63	5.0	0.52
	11.6	32.06	7.5	0.60
08	11.7	31.83	7.9	0.67
	11.3	31.65	4.4	0.41
09	12.0	32.19	7.1	0.60
	11.4	31.34	8.2	0.64
10	10.5	30.99	2.2	0.17
	12.7	32.43	7.2	0.59
12	11.7	32.01	7.8	0.66
	11.3	31.65	2.7	0.26
13D	12.9	32.54	7.0	0.60
	11.5	31.66	8.5	0.66
16	11.0	31.60	3.1	0.22
	11.6	32.08	8.7	0.58
17D	10.8	30.68	14.9	0.64
	10.1	30.63	5.7	0.10
18	10.8	31.32	14.1	0.55
	10.5	29.60	21.4	0.70
S1	10.4	30.20	7.8	0.09
	10.7	30.95	18.6	0.58
S2	10.3	30.04	15.1	0.45
	9.7	26.09	21.8	0.21
S3	10.6	30.21	20.0	0.58
	10.6	27.25	36.5	1.03
S4	10.3	29.31	10.9	0.11
	10.3	29.79	38.1	0.94
018	10.7	29.00	33.1	1.08
	9.0	22.03	75.3	1.96
017D	10.2	28.12	49.0	1.43
	10.6	30.59	12.9	0.52
016	9.2	27.73	14.6	0.10
	11.2	31.35	12.0	0.57
013D	10.3	30.09	15.0	0.45
	9.3	26.85	15.3	0.11
017D	10.8	30.80	15.5	0.55
	11.7	31.80	8.0	0.66
018	10.4	29.89	5.7	0.17
	11.2	31.77	8.4	0.56
S1	12.5	32.51	8.4	0.68
	11.4	31.67	4.8	0.44
S2	12.4	32.46	7.6	0.63



